

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	日本事情Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0094			科目区分	一般 / 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学科（知能ロボットシステムコース）			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	佐々木瑞枝『クローズアップ日本事情15』ジャパントイムス、2017年。						
担当教員	印道 緑,白神 宏						
到達目標							
1.現代日本の文化・科学技術の基本事項について理解し、説明できる。 2.現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。 3.現代の日本社会が抱える主要な課題について理解し、自らの意見を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現代日本の文化・科学技術の基本事項について理解し、説明できる。			現代日本の文化・科学技術の基本事項についてある程度理解し、説明できる。		現代日本の文化・科学技術の基本事項について理解できない。	
評価項目2	現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。			現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについてある程度理解し、説明できる。		現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解できない。	
評価項目3	現代の日本社会が抱える主要な課題について理解し、自らの意見を説明できる。			現代の日本社会が抱える主要な課題についてある程度理解し、自らの意見を持つことができる。		現代の日本社会が抱える主要な課題について理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	私たちが暮らす現代日本の社会・文化的な様相と抱える課題について理解を深め、よりよい社会を築くためにはどうすればよいか自らの意見を日本語で表現できるようになることを目的とします。						
授業の進め方・方法	教科書に基づいて学習しますが、少人数での討論やワークも取り入れながら進めます。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	スポーツ（１）		現代日本の文化・科学技術の基本事項について理解し、説明できる。		
		2週	スポーツ（２）		現代日本の文化・科学技術の基本事項について理解し、説明できる。		
		3週	科学技術（１）		現代日本の文化・科学技術の基本事項について理解し、説明できる。		
		4週	科学技術（２）		現代日本の文化・科学技術の基本事項について理解し、説明できる。		
		5週	環境問題（１）		現代の日本社会が抱える主要な課題について理解し、自らの意見を説明できる。		
		6週	環境問題（２）		現代の日本社会が抱える主要な課題について理解し、自らの意見を説明できる。		
		7週	教育（１）		現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	教育（２）		現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。		
		10週	産業構造と経済（１）		現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。		
		11週	産業構造と経済（２）		現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。		
		12週	政治と憲法（１）		現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。		
		13週	政治と憲法（２）		現代日本の基本的な社会の制度や仕組みについて理解し、説明できる。		
		14週	多文化共生社会を目指して（１）		現代の日本社会が抱える主要な課題について理解し、自らの意見を説明できる。		
		15週	多文化共生社会を目指して（２）		現代の日本社会が抱える主要な課題について理解し、自らの意見を説明できる。		
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	演習・レポート			合計	
総合評価割合		60	40			100	

基礎的能力	60	40	100
專門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0